



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月30日

上場会社名 八洲電機株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3153 URL <https://www.yashimadenki.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 太田 明夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営統括本部長 (氏名) 織田 富造 (TEL) 03(3507)3349  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	44,729	4.4	580	△2.8	687	△7.0	95	△84.2
2019年3月期第3四半期	42,857	△5.9	596	67.1	739	48.7	605	67.4

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 182百万円(△68.8%) 2019年3月期第3四半期 585百万円(△34.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	4.44	—
2019年3月期第3四半期	28.01	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	49,465	19,846	39.4
2019年3月期	58,783	20,089	33.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 19,475百万円 2019年3月期 19,702百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	6.0	2,400	2.2	2,600	3.0	1,700	△7.4	78.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	21,782,500株	2019年3月期	21,782,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	190,191株	2019年3月期	214,634株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	21,582,176株	2019年3月期3Q	21,612,331株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続き緩やかな回復が続いておりますが、通商問題の動向による海外経済の不確実性や、金融資本市場の変動による影響、製造業を中心に設備機械への投資の減少方向もあるなど、弱さが一段と増しており、依然として厳しい状況が続いております。

そのような状況下、当社グループは2019年6月よりエンジニアリングセンターを移転集約するなど、エンジニアリングビジネスユニットを中心とした技術・営業一体の事業展開の強化、インフラソリューションビジネスユニットを中心とした製品販売力の強化により、事業規模と収益の拡大を目指しております。さらに、情報・通信機器などの販売・設置工事・保守などを行う「八洲情報システム(株)」、九州地区の電力会社に水力発電機器の販売、保守・メンテナンスを行う「(株)西日本パワーシステム」が営業を開始し、グループ一体となり、ソリューション・エンジニアリング力の強化と拡大を図っております。

また、当社は、2020年1月21日に公表のとおり、八洲電子ソリューションズ(株)の全株式を2020年4月1日に(株)立花エレテックへ5億30百万円で譲渡する契約を締結致しました。グループ経営の安定化・効率化及び事業・財務リスクの低減が可能である等を総合的に勘案した結果、鉄鋼・石油・鉄道業界を中心とした当社グループの事業展開において、その経営資源をエンジニアリング事業に集中展開することで収益力の更なる強化に繋がり、本株式譲渡が当社グループにとって最善であると判断しました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は447億29百万円(前年同四半期比4.4%増)となりましたが、当第3四半期連結会計期間において受注代理手数料が前年度に比べ減少したため、営業利益は5億80百万円(前年同四半期比2.8%減)、経常利益は6億87百万円(前年同四半期比7.0%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、八洲電子ソリューションズ(株)の株式譲渡に伴う、株式譲渡損失の見込額について特別損失を4億50百万円計上したため、95百万円(前年同四半期比84.2%減)となりました。なお、当該株式譲渡が当期の業績に与える影響は精査中ではありますが、現時点においては2020年3月期の通期連結業績予想に変更はございません。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①プラント事業

鉄鋼・非鉄金属分野では、鉄鋼分野において海外市況悪化等の影響による生産調整局面にありますが、安定操業に向けた老朽化更新や安全性向上のための投資は継続され、売上高は堅調に推移しました。

石油・化学プラント分野では、石油分野において発電付帯設備の大型保全工事案件が予定どおり進捗し、売上高は好調に推移しました。

その結果、プラント事業の売上高は125億25百万円(前年同四半期比16.6%増)となったものの、受注代理手数料が前年度に比べ減少したため、営業利益は6億37百万円(前年同四半期比1.3%減)となりました。

#### ②産業・交通事業

産業機器分野では、設備機械関連のセットメーカーにおいて生産調整があったものの、首都圏を中心とした再開発案件の継続により、売上高は好調に推移しました。

一般産業分野では、製造業向け受変電設備の老朽化更新工事及び設備点検作業が増加し、売上高は好調に推移しました。

空調設備分野では、首都圏を中心とした空調機器の販売や空調設備工事等が順調に進捗し、売上高は好調に推移しました。

交通分野では、鉄道車両関連製品の増加や列車運行システム関連の大型工事が計上されたことにより、売上高は好調に推移しました。

その結果、産業・交通事業の売上高は269億9百万円(前年同四半期比1.7%増)となり、営業利益は11億35百万円(前年同四半期比6.0%増)となりました。

#### ③電子デバイス・コンポーネント事業

産業機器分野では、需要低迷と慎重な生産計画を背景に電子デバイス関連の売上高は低調な推移となりました。

その結果、電子デバイス・コンポーネント事業の売上高は52億94百万円(前年同四半期比6.5%減)となったものの、表示機器案件及びソフト受託分野への掘り起こしに注力した結果、営業利益は1億95百万円(前年同四半期比10.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①財政状態

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は494億65百万円で、前連結会計年度末に比べ93億18百万円減少しております。主な要因は、現金及び預金(86億62百万円から97億40百万円へ10億78百万円増)が増加した一方、受取手形及び売掛金(275億46百万円から158億40百万円へ117億5百万円減)が減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は296億19百万円で、前連結会計年度末に比べ90億75百万円減少しております。主な要因は、前受金(36億71百万円から51億円へ14億28百万円増)、預り金(2億2百万円から16億37百万円へ14億34百万円増)が増加した一方、支払手形及び買掛金(265億6百万円から162億67百万円へ102億38百万円減)、賞与引当金(8億90百万円から2億32百万円へ6億57百万円減)、未払金(31億51百万円から25億33百万円へ6億17百万円減)が減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は198億46百万円で、前連結会計年度末に比べ2億42百万円減少しております。主な要因は、配当金の支払による4億31百万円の減少により利益剰余金(175億32百万円から171億94百万円へ3億37百万円減)が減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の業績予想につきましては、2020年1月21日に連結子会社の株式の譲渡に関する契約を締結しており、当該株式譲渡が当期の業績に与える影響は精査中ではありますが、現時点においては通期連結業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,662	9,740
受取手形及び売掛金	27,546	15,840
電子記録債権	4,370	4,405
有価証券	150	100
商品	3,818	3,725
原材料	33	35
未成工事支出金	353	253
仕掛品	306	415
未収入金	2,095	1,604
その他	1,740	2,689
貸倒引当金	△3	△1
流動資産合計	49,073	38,807
固定資産		
有形固定資産	5,826	6,724
無形固定資産	406	407
投資その他の資産		
その他	3,481	3,530
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	3,476	3,525
固定資産合計	9,710	10,657
資産合計	58,783	49,465
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,506	16,267
前受金	3,671	5,100
短期借入金	695	695
未払金	3,151	2,533
未払法人税等	554	54
賞与引当金	890	232
関係会社株式譲渡損失引当金	—	450
その他	577	1,952
流動負債合計	36,046	27,287
固定負債		
長期借入金	140	—
繰延税金負債	27	36
退職給付に係る負債	2,373	2,188
資産除去債務	16	16
その他	91	91
固定負債合計	2,647	2,331
負債合計	38,694	29,619

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,585	1,585
資本剰余金	1,037	1,037
利益剰余金	17,532	17,194
自己株式	△204	△181
株主資本合計	19,950	19,636
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	437	479
退職給付に係る調整累計額	△685	△640
その他の包括利益累計額合計	△248	△160
非支配株主持分	386	370
純資産合計	20,089	19,846
負債純資産合計	58,783	49,465

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	42,857	44,729
売上原価	35,216	36,802
売上総利益	7,640	7,927
販売費及び一般管理費	7,043	7,347
営業利益	596	580
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	35	38
不動産賃貸料	2	2
業務受託料	46	29
その他	65	44
営業外収益合計	150	117
営業外費用		
支払利息	3	1
売上割引	3	2
為替差損	—	4
その他	1	0
営業外費用合計	8	10
経常利益	739	687
特別利益		
固定資産売却益	255	—
保険解約返戻金	0	4
その他	12	—
特別利益合計	267	4
特別損失		
固定資産除却損	0	9
減損損失	0	—
関係会社株式譲渡損失引当金繰入額	—	450
その他	0	4
特別損失合計	1	463
税金等調整前四半期純利益	1,005	228
法人税、住民税及び事業税	169	209
法人税等調整額	206	△73
法人税等合計	376	135
四半期純利益	629	93
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	24	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	605	95



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	629	93
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△153	43
退職給付に係る調整額	108	45
その他の包括利益合計	△44	89
四半期包括利益	585	182
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	556	183
非支配株主に係る四半期包括利益	28	△0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	プラント 事業	産業・交通 事業	電子デバイス・ コンポーネント 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,746	26,446	5,663	42,857	—	42,857
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	97	8	107	△107	—
計	10,747	26,543	5,672	42,964	△107	42,857
セグメント利益	645	1,070	177	1,893	△1,296	596

(注) 1 セグメント利益の調整額の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「プラント事業」において、(株)三陽プラント建設の一部株式を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては、114百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	プラント 事業	産業・交通 事業	電子デバイス・ コンポーネント 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,525	26,909	5,294	44,729	—	44,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	155	236	11	403	△403	—
計	12,681	27,145	5,305	45,132	△403	44,729
セグメント利益	637	1,135	195	1,968	△1,388	580

(注) 1 セグメント利益の調整額の主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等管理部門に係る経費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。